

2017

11

November

No. 296

三島みしや

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

きれいに咲きました

「名入ざる菊園」に咲いたざる菊（6ページに関連記事）

主 な 内 容

平成29年度桐の里町民運動会	2	三島町生活工芸アカデミー	
第13回会津の編み組工芸品展・		平成30年度受講生募集	8～9
第7回ものづくり再光	3	健康で元氣な毎日！	10
会津産杉材を使った木質サッシを開発	4	図書のご案内	10
まちの話	5	町史編さん室だより	11
町民記者通信	6～7	宮下病院からのお知らせ	12
		情報配信・お知らせ	13～15
		町長日記	16



編み組細工の魅力を発信 第13回会津の編み組工芸品展 第7回ものづくり再光

第13回会津の編み組工芸品展は10月14日・15日、交流センター山びこで開催されました。会津管内の市町村から寄せられた509点(88人)の作品を審査し、「シヨルダーバッグ」を出展した阿部節子さん(柳津町)が、最高賞の福島県会津地方振興局長賞を受賞されました。

2日間で約1500人の来場者が訪れ、初日は開場前から長い行列ができていました。マタタビ細工やヒロロ細工などの実演コーナーでは、伝統工芸士の皆さんが来場者に優れた技を披露しました。さらに山ブドウストラップやヒロロコースター手作り体験コーナーも設けられ、自然素材による手作りを楽しんでいただきました。

また、生活工芸館において、第7回ものづくり再光が同時開催され、編み組細工以外の木工、漆や木綿など工芸品のお店が並び、来場者は作品を手に取り、作り手との会話を楽しんでいました。

賞	作 品	材 質	作 者	市町村
福島県会津地方振興局長賞	シヨルダーバッグ	ヒロロ・アカソ・モワダ	阿 部 節 子	柳 津 町
会津若松市長賞	シヨルダーバッグ	ヒロロ・モワダ	大 山 達 朗	会津若松市
喜多方市長賞	お 出 掛 け 籠	真 竹 ・ 籐	鈴 木 真由美	喜 多 方 市
北塩原村長賞	手 提 げ 籠	山 ブ ド ウ	高 橋 マサノ	北 塩 原 村
磐梯町長賞	洗 濯 籠	ア ケ ビ	菅 家 千代子	三 島 町
会津坂下町長賞	シヨルダーバッグ	ヒロロ・アカソ・モワダ	齋 藤 タケ子	会津坂下町
湯川村長賞	鶴 亀 飾 り	藁	野 中 勇	会津美里町
柳津町長賞	手 提 げ 籠	山 ブ ド ウ	福 田 耕 士	三 島 町
会津美里町長賞	手 提 げ 籠	山 ブ ド ウ	馬 場 定 子	会津美里町
三島町長賞	手 提 げ バ ッ グ	ヒロロ・アカソ・モワダ	渡 部 マ サ	三 島 町
金山町長賞	果 物 入 れ	マ タ タ ビ	栗 田 伝三郎	金 山 町
昭和村長賞	手 提 げ バ ッ グ	ヒロロ・モワダ	渡 部 好 子	昭 和 村
南会津町長賞	スカリシヨルダー	ヒロロ・モワダ	五十嵐 タメ子	三 島 町
只見町長賞	手 提 げ バ ッ グ	ク ル ミ	飯 塚 慶 助	只 見 町
三島町議会議長賞	手 提 げ 籠	山 ブ ド ウ	二 瓶 譲	三 島 町
福島民報社賞	手 提 げ 籠	山 ブ ド ウ	五十嵐 富 一	三 島 町
福島民友新聞社賞	あ ず き 濾 し	マ タ タ ビ	菅 家 哲 夫	金 山 町
奥会津三島編組品振興協議会長賞	し め 縄	ス ゲ	片 桐 利 永	湯 川 村
	籠	竹	三 星 智 善	喜 多 方 市
	米 研 ぎ	箆	市 川 里 美	金 山 町
	帽	子	菅 家 タカ子	昭 和 村
	長 財	布	小 池 ケイ子	三 島 町
	手 提 げ 籠	山 ブ ド ウ	角 田 清 義	三 島 町

第13回会津の編み組工芸品展受賞作品名簿



地区対抗綱引きで熱戦を繰り広げる浅岐・間方チーム



スポーツの秋 地区で一致団結 平成 29 年度桐の里町民運動会

平成 29 年度桐の里町民運動会は 10 月 8 日、三島町町民運動場で行われました。雨天により過去 2 年は中止だったため、3 年ぶりの開催となりました。

地区対抗綱引きは、西方地区が優勝を飾り、また地区対抗縄跳びも、西方地区が 2 回合計 113 回を飛び優勝しました。地区対抗玉入れでは、滝谷地区が 26 個を入れ見事優勝しました。

新種目の「もう逃がさない輪」ほか、「わなげオリンピック」「グラウンドゴルフグランプリ」など計 12 種目を行い、子どもから高齢者まで多くの皆さんが参加して楽しみました。

一年のうちで、町民の皆さんが最も多く集まる町民運動会。家族そろって楽しむ姿が見られました。



お 月見団子をつくったよ お月見の会 &Let's Enjoy English!

お月見の会 &Let's Enjoy English! は十五夜の日にあたる 10 月 4 日、「からんころん」で行われ、親子など約 15 人が参加しました。栗城博子さん(宮下)を講師に、お団子を丸めて月見飾りを作ったり、みたらしやあんこと一緒にして楽しく味わいました。また、ALT のアマンダ先生にお月見に関する英語のフレーズを教わったり、ジェスチャーゲームなどをして楽しみました。



楽 しく汗を流して交流深める 秋季ビーチバレーボール大会

秋季ビーチバレーボール大会は 10 月 18・19 日に三島中学校体育館で行われました。年齢制限のある 1 部、制限のない 2 部に分かれて試合が行われ、1 部はオール桑原チーム、2 部は six ange チームがそれぞれ優勝しました。回を重ねるごとに全体的にレベルが向上し、白熱した試合が展開されました。



1 部優勝 オール桑原チーム



2 部初優勝 six ange チーム



エ アコン、一眼レフカメラなどを贈呈 とうほう・ふるさと総活躍応援私募債贈呈式

とうほう・ふるさと総活躍応援私募債贈呈式は 10 月 20 日に町民センターで開催され、東邦銀行より三島小・中学校にエアコンが 1 基ずつ、滝谷建設工業(株)より小学校に一眼レフカメラ、中学校にホワイトボードが贈呈されました。これは私募債発行手数料の一部を学校などへの寄贈に充てる「東邦銀行のふるさと総活躍応援私募債制度」を滝谷建設工業(株)が活用したものです。



認 知症について正しく理解 認知症サポーター養成講座

三島中学生と保護者を対象にした認知症サポーター養成講座は 10 月 21 日に三島中学校体育館で行われ、劇やグループワークを通して認知症に関する正しい知識を学びました。この講座は、自分のできる範囲で認知症の方を手助けするサポーターを養成するため、認知症キャラバン・メイト会の主催で定期的に行っています。

特許を取得し完成した 木質サッシ

川井地区に支所がある、アイパワーフォレスト(株)が、会津産杉材を活用した木質サッシを製品化し、会津の山林資源の有効活用に取り組んでいます。

「会津の山を守り、山に携わる人たちを育てたいと思っています。そのため、会津の杉材が持つ特性を活かした製品の開発を進めています」と語るアイパワーフォレスト(株)代表取締役社長の金澤秀光さん。平成 28 年度に町の「起業・雇用創出支援事業補助金」を活用し、厳しい自然で育まれた会津の杉材を活用したサッシの研究と試験を行いました。木質サッシは、金属製のサッシと違い、結露しにくく強度があり、簡単に加工できることから屋内用のサッシに適していることがわかりました。また、低温で

時間をかけて丁寧に乾燥させることで、ねじれや狂いにも強くなることもわかりました。

サッシの構造は特許を取得しており、耐久性と高断熱性を実現し、さらにスムーズな開閉を行えるように工夫されています。開発したサッシはすでに市販されており、喜多方市内などで利用されているそうです。また、早戸地区のつるのこまカフェにも試作品の木質サッシが設置されています。

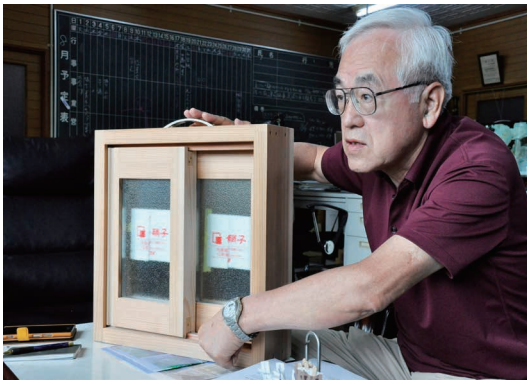
今回開発した木質サッシは、高付加価値製品として販売し、会津の木材の品質の良さを全国にアピールする計画です。また、杉材だけでなく、桐材を使った木質サッシの開発に取り組むなどの活動を続けています。

三島町起業・雇用創出支援事業補助金を活用

会津産杉材を使った木質サッシを開発

アイパワーフォレスト(株)代表取締役社長

金澤秀光さん



木質サッシの構造を説明する金澤さん

会津の山を次の世代へ

金澤さんは今後の展開について「まずは木こりとしての活動が主軸になります。今回の木質サッシなど、会津の木材を使った付加価値のある製品を販売するのは、会津の山を守るためです。今回のような木質サッシなどを販売し利益を生むことで活動を活性化し、木を切り、運ぶための機械を導入することで作業の合理化を進め、次の世代へ技術を伝え、会津の山を守る人たちを育てることがアイパワーフォレスト(株)の仕事だと思っています」と話していました。

♪ になることば

三島町起業・雇用創出
支援事業補助金

定住促進のため、起業する方や雇用創出を行う方に対して、経費の一部を補助する制度です。起業支援、雇用創出支援とともに町内に住所があることなど、いくつかの条件を満たせば利用できます。起業支援は、本ページに掲載してあるような、試作開発に必要な経費のほか、広告宣伝にかかる費用や、設備や備品の購入、事業所などの家賃に充てることができます。雇用創出支援は、新たに雇う正社員またはパートの賃金や社会保険料などを補助します。詳しい内容については、地域政策課 ☎(48) 55333 までお気軽にご相談ください。

木めぐり探検バスツアーの見学者が早戸本村へ

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）

福島県農林水産部林業振興課が主催する「木めぐり探検バスツアー・奥会津コース」の見学者が、10月14日午前中に早戸本村に来ました。このツアーは、モデルハウス等の見学を通じて福島県産材の利用状況を学び、その利用を促進することを目的として福島県森林環境税を活用して行っているもので、今年で2回目になるとのことです。

今年の「奥会津コース」の参加者は、家の建築を検討している家族等約30名。早戸本村では佐久間建築工業(株)が今年建設した「板倉造り」のモデルハウスと、地元材を活用して建設した住宅を見学し、関係者から地元材の活用状況と利用方法について、具体例を見ながら説明を受けました。午後は、名入地区で伐倒作業を見学し、その後「森のしごと舎」で木工体験を行いました。

このような活動を通じて、会津材への理解が深まり、少しでも利用促進に貢献できれば良いと思います。



「ボランティアいわくら」による秋を彩る昼食会

文・写真 本名与四郎さん（西方）

10月20日、例年行われている「ボランティアいわくら」主催による「高齢者をお招きしての昼食会」がふるさとセンターで行われました。

当日はボランティアいわくらの会員が午前9時にふるさとセンター調理室に参集し、早速昼食の調理に取りかかりました。

今回の献立は、栗ごはん、お吸い物、煮物、揚げ物（鶏の唐揚げ、海老フライ）、卵焼き、酢の物、カボチャの甘煮、果物（オレンジ）と色とりどりの盛りつけとなりました。

会食の前に、交流センター山びこに勤務されている学芸員の川合正裕さんによる「西方の歴史について」と題し講演していただきました。詳しい資料をもとに、いにしえの西方の歴史にタイムスリップすることができました。

秋を彩る味覚いっぱいの会食で、心も体も癒される時間となりました。

会食中には、次から次へと交代しながら「佐渡おけさ」の歌い回しや、全員による「ふるさと」の大合唱となり大いに盛り上がった昼食会となりました。



広報みしま 皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが、読まれる方の関心を引き、感動を与えます。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

☎ 総務課総務係 ☎ (48) 5511



名入ざる菊園 整備作業

文・写真 五十嵐公男さん（名入）

今年2年目となる「名入ざる菊園」では、会員13人が参加し、10月9日～10日の2日間、開花を迎えたざる菊園および周辺道路の草刈り、看板設置等の整備作業を行いました。会員の皆さんも、昨年1度経験してきたせいか積極的に作業にあたり、見違えるほどきれいに仕上がりました。10月10日現在の開花状況は、赤紫（本来はピンク色ですが色の变化あり）が満開となり、続いて黄色、オレンジ、赤、白、紫の順で開花すると予想されます。全体的には、昨年より10日ほど早い感じがします。

10月12日のざる菊園オープンから11月26日（予定）のクローズまで、比較的長い間観賞できますので、お誘い合わせのうえご来園くださいますよう、会員一同心よりお待ちしております。

名入ざる菊園 11月26日まで
交流センター山びこ隣で開園しています

「名入ざる菊園」（代表：五十嵐公男）のざる菊が見ごろをむかえ、11月26日（予定）まで開園しています。会員の皆さんが手塩にかけて整備した、色とりどりのざる菊をぜひご覧ください。

※周辺に駐車場がありませんので、車でお越しの際は交流センター山びこの駐車場をご利用ください。



※すべて10月26日撮影

三島町生活工芸アカデミー平成 30 年度受講生 募集要項

三島町生活工芸アカデミーって？

三島町では、これまで取り組んできた生活工芸運動により、会津桐や編み組細工の産地として振興してきましたが、様々な社会状況の変化により、林業離れや過疎高齢化などの影響を大きく受け、後継者不足から原材料の確保が困難な状況にあります。これらの課題解決に向け、町の地域資源を活用して魅力あるまちづくりを進めるため、町の生活文化や民俗行事、農林業などの農山村生活実践体験を始め、生業の一つとなる生活工芸技術を習得する「三島町生活工芸アカデミー」を開講します。アカデミー受講生は、農山村で生計を立て自活できる素養の一端を身に付けるとともに、生活工芸の担い手として、伝統文化の継承と地域の活性化に寄与することを目的としています。

開講期間 平成 30 年 5 月 12 日(土)～平成 31 年 3 月 20 日(水)

- ◆ ④～⑤の週 5 日間（午前 9 時～午後 4 時）
※④・⑤に実施する場合あり。時間についても変更が生じる場合あり。
- ◆ 夏季休講（8 月中旬～8 月下旬）、冬季休講（12 月下旬～1 月中旬）
※いずれも 20 日程度

体験費用など

- ◆ カリキュラムにおける材料代等の費用については町が負担します。
- ◆ 町が用意した一軒家での共同生活となります。※自宅等からの通学は不可。
- ◆ 共同生活における光熱水費は町が負担します。
- ◆ 食費、その他の生活費（健康保険料、国民年金保険料）は各自負担となります。
- ◆ 貸与奨学金制度（月額 5 万円）を利用できます。※定住による返還免除規定あり。
- ◆ 受講生が共同で利用できる軽自動車を町が貸与します。※ガソリン代は利用者負担。

三島町マスコットキャラクター
『桐子』



募集定員 3～4 名程度

応募資格

- ◆ 平成 30 年 5 月 12 日時点で満 20 歳以上の心身ともに健康な者
- ◆ 雪国である三島町（山村地域）での生活及びものづくりに関心があり、受講生同士で共同生活ができる者
- ◆ アカデミー受講期間中、町に住民登録ができる者
- ◆ アカデミー受講期間中、新聞や雑誌、テレビの取材に応じることができる者

応募方法

「履歴書（写真貼付）」及び応募動機を記入した「原稿用紙 2 枚（800 字程度）」を下記の問合せ先に平成 29 年 12 月 28 日(木)まで郵送または直接持参してください。※封筒表面に朱書きで「H30 アカデミー申込み」と記入してください。

選考方法

- (1) 一次選考（書類審査）を行い、可否結果を書面で 1 月下旬に通知します。
- (2) 二次選考（面接・2 月中旬）を行い、可否結果を書面で 2 月下旬に通知します。

その他

- ◆ カリキュラム受講中及び日常生活においてケガした場合に補償する傷害保険に加入します。
- ◆ 共同生活では、個人部屋以外の居間、台所、浴室、トイレは共同利用となります。
- ◆ 住居では光回線（Wi-Fi）が利用可能です。※住居での携帯電話は、NTTdocomo のみ利用可能。

問合せ先

福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 3 5 0
三島町役場 地域政策課地方創生推進係
Tel : 0 2 4 1 - 4 8 - 5 5 3 3
Mail : seisaku@town.mishima.fukushima.jp
HP : <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

担当者より

三島町役場 地域政策課地方創生推進係
主事 大竹夏奈 (24)

生まれも育ちも三島町！生粋の三島っ子です！三島町は雄大な自然と伝統文化、おいしい食材、温かな人の心で満ち溢れています。一緒に楽しい 1 年を過ごしてみませんか？新しいライフスタイルを発見できるかも！！



平成 30 年度受講生募集

三島町で暮らし、生活工芸を学ぶ 1 年間

三島町生活工芸アカデミー

募集期間：平成 29 年 9 月 1 日(金)～平成 29 年 12 月 28 日(木)

三島町

福島県



福島県奥会津三島町

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

開講期間

平成 30 年 5 月 12 日(土)～平成 31 年 3 月 20 日(水)

講座内容

農山村生活実践体験

- ・農林業体験…自家用野菜畑を中心に、田植えや稲刈りなどの農林業の体験
- ・郷土料理体験…こづゆ、煮物などの料理やそば打ち体験
- ・町行事への参加…ふるさと会津工人まつり、町文化祭、雪と火のまつりなど

生活工芸実践体験

- ・座学…町の歴史、生活工芸運動、デザインやマーケティングなどの講義
- ・実技…編み組細工（山ブドウ、ヒロロ、マタタビ）、木工、陶芸など



奥会津編み組細工三種



モワダの皮を洗う様子



生活習慣病はその名の通り適正な生活習慣で予防が可能です。また、生活習慣病になった後も、生活習慣を改善することで、脳血管疾患（脳卒中）、心疾患、慢性腎臓病、透析などの重症化状態を防ぐことができます。

そのため、町では特定健診を受けていただいた方のデータを読み取り、その中から、生活習慣病を発症しそうな方、生活習慣病で重症化する恐れのある方への訪問をさせていただき、相談、指導を行っています。相談、指導を受けられた多くの方が、忙しい生活の中でも、生活習慣を変える努力をされ、生活習慣病を発症しないで済んだり、血液データがよくなり、高血圧や糖尿の薬が減り、重症化予防を達成されています。

現在の法律では各保険者（入っている保険の管理者）が皆さんの健診結果に責任を持ち保健指導をすることが義務付けされていますが、なかなか健診結果に対する指導を受ける機会のない方も多いと思います。そのような方はいつでも町保健師にご相談ください。お声掛けおまちしてます！

相談、指導を行ってからの皆さんの変化

①重症化は？（脳卒中、心臓病に新たにになった人の数）

	脳血管疾患（脳卒中）	虚血性心疾患（心臓病）
平成 24 年	11人	10人
平成 27 年	2人	4人
平成 28 年	2人（軽症）	3人

②医療費は？（国保1人あたりの医療費）

平成 25 年	26,186円	県内第3位（ワースト）
平成 27 年	28,257円	県内第10位
平成 28 年	24,227円	県内第4位

※生活習慣病になってしまう方は生活習慣が悪いという理由からだけでなく、その人の持つる体質（遺伝）や様々な要因が関係します。しかし、体質などによりなりやすい方は、より多く生活習慣に注意を払えば悪化や発症を防ぐことができます。



図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・
山と溪谷・オレンジページ・壮快・
Number

○利用時間

- ⑧～⑪ 午前9時～午後9時
- ⑩・祝日 午前9時～午後5時

○お休み

年末年始
問 公民館 ☎（48）5599

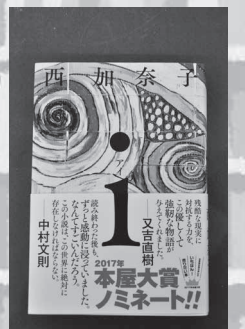
●今月のおすすめ

i (アイ) 著者：西 加奈子

「この世界にアイは存在しません」数学教師が授業中に発した言葉に衝撃を受ける主人公のアイ。アイはシリアから養子としてアメリカ人の父と日本人の母のもとへ引き取られた子どもだ。祖国の内戦、災害、結婚・妊娠など様々なことがらを通し、自分の存在と世界について考え抜いていく。

●新着本の紹介

題 名	著 者
女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと	西 原 理 恵 子
自律神経どこでもリセット！ずばらヨガ	崎 田 ミ ナ



町史編さん室だより

第 22 回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、
交流センター山びこまでご一報ください。
☎（52）2165

江戸時代からのアサの栽培記録（大谷地区）

先月号で、大谷の二瓶常松翁がアサ（大麻繊維）を移出していたことを紹介しました。江戸時代の大谷では、アサがたくさん栽培され、繊維での出荷・布に織つての販売が続けられました。しかし、昭和二十三年、GHQが制定に強く関わった大麻取締法の成立後は、免許制となったため全国各地で栽培されていたアサは次第に無くなっていきました。現在栽培されているのは、そのほとんどが栃木県鹿沼市であり、新規栽培は申請してもほぼ許可されません。

アサの繊維を取った後に残った幹はオガラ（アサガラ）として、カヤ（ススキ）とともに屋根葺きの材料として利用され、それ自体が商品となり流通もしていました。昭和村大芦で生産されたオガラが馬による輸送で美女峠を越え、大谷の民家の屋根葺き材となったこともあることから、養蚕の導入が進んだ大谷地区ではオガラが不足していたとも考えられます。

大谷村の近世文書を確認すると、江戸時代のはじめからアサ栽培が確認できます。江戸時代、今でいう奥会津には「内慣（うちならし）（均とも）」

などと呼ばれる割地制度（土地の良し悪しを均等化するために田畑を村人同士で交換する慣行）があり、三島町でも大谷村などでは田や畑の土地をくじ引きで決める場合があります。

寛文十二年（一六七二）「麻畑慣申帳」、天和三年（一六八三）「あさ畠分申帳」にその記録があり、畑の場所の名前を記し、畑に番号をふり、現時点での耕作者名を記し、くじ引きをして新しい耕作者を決めていることがわかります。

元禄三年（一六九〇）に前年の大谷川の洪水の影響を鑑み、麻畑の「内慣」を求め、肝煎や地主などが郷頭に訴えた史料も発見されています。

安政三年（一八五六）九月「麻流失書上帳」には八月二十五日の夜に大谷川が洪水となり、畑から収穫して川原に干していたアサ二百五十一把が流されたことが記され、大谷村の村人十名がそれぞれ五把から六十把を失ったことがわかります。貞享元年（二六八四）、会津若松城下近くの幕ノ内村肝煎である佐瀬与次右衛門がまとめた『会津農

書』には麻の作り方が詳述されており、一反歩の畑からの麻の収量は、中の出来で二十束、上の出来だと二十五束ほどになると書かれています。会津の平野部と山間部では収量が異なるとは思いますが、大谷村の洪水被害にあてはめ算定してみると、中の出来だと二百五十一把は十二反歩、上の出来だと十反歩となり、約十から十二反歩分のアサが流されたこととなります。

カラムシ（苧麻）は県内では昭和村しか現在では残っていませんが、かつては奥会津一帯で生産され、繊維のまま越後（新潟県）に出荷されたのに対し、アサは繊維から糸を製して布に織り、自家用・販売用としていました。

こういった事例は奥会津・三島町に限ったことではなく、今では想像できないほど、日本列島各地、そして東アジアにおいてアサ栽培は身近なものでした。一方、沖縄や台湾ではアサは栽培された歴史がありません。こちらはカラムシが現在も栽培され利用されています。

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭

【残薬について】

残薬とは、飲み忘れ、処方の変更、自己判断による薬の中止などにより、使わずに余ってしまった薬のことです。

残薬を無駄なく使用すれば薬代の節約にもなりますが、誤って使用すると症状を悪化させる危険性もありますので、薬の取扱いには十分に注意を払う必要があります。

まずは、薬が余らないように、医師や薬剤師の説明のとおり使い切りましょう。自己判断による服用の中止はしないでください。

やむを得ず薬が余ってしまった場合、古くなった薬は捨てるようにしましょう。開封した薬は、軟膏は3ヶ月、目薬は1ヶ月が廃棄の目安です。飲み薬については、薬によってばらつきが大きいので、医師や薬剤師に相談してください。調剤年月日がわからない薬は、迷わず捨ててください。

残薬を使用する場合は、必ず病院に相談しましょう。残薬がある場合は、その薬を病院にお持ちください。使えるかどうか医師・薬剤師が確認し、使える場合は今後の服用について説明いたします。

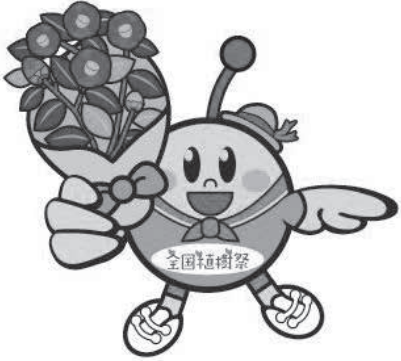
また、残薬は他人にあげないようにしましょう。病院や診療所で渡された薬は、医師が一人ひとりのその時の状態、症状などを考えて選んでいます。自分と同じ症状だと思った人でも、その人の身体に合わなければ危険な状態を引き起こすこともあります。

このほか、残薬についてわからないことがある場合は、お気軽に当院の医師や薬剤師にご相談ください。

第 69 回全国植樹祭
平成 30 年 6 月 30 日開催 一般参加者（県内公募）を募集しています

「育てよう 希望の森を いのちの森を」をテーマに、福島県相馬市で開催される、第 69 回全国植樹祭の参加者を募集しています。東日本大震災の被災地で初めて開催され、緑豊かなふるさとへの再生や復興に向けた福島の姿を発信する、全国植樹祭に参加してみませんか。

- 募集人数 1,500 人（応募者多数の場合抽選）
- 申込受付期間 平成 29 年 11 月 30 日まで
- 募集区分
 - （1）個人での応募
 - （2）グループ・家族（2 名以上 20 名以下）での応募
- 応募方法
 - （1）インターネットでの申込（推奨）
 - （2）専用の応募用紙を郵送または持参
- 問い合わせ先 第 69 回全国植樹祭福島県実行委員会事務局 ☎ 024（521）8658



平成 29 年 11 月 9 日～11 月 15 日

平成 29 年度 全国統一防火標語
火の用心 ことばを形に 習慣に



火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防思想の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

火災がひとたび発生すると、大切な生命や財産等を失う可能性があります。そこで、火災が発生したときの効果的な対処方法を覚えましょう。

1. 早く知らせる（通報）
火事が起きたときまずは誰かに助けを求めることが重要です。
2. 早く消す（消火）
火が床など横に広がっているだけの間は初期消火に努めましょう。
※火が天井に達したり、大きく広がっていたら無理な消火は行わない。
3. 早く逃げる（避難）
姿勢を低くし、ハンカチやタオルで鼻と口を当て、煙を吸わないようにする。

～稲わらは燃やさずにすき込みましょう～

会津地方では、稲刈り後の稲わら焼却が、毎年問題になっています。稲わらを焼却すると、土壌の有機質資源の減少による米の品質低下をはじめ、地域住民から煙害等の苦情や交通障害、観光地のイメージダウン、更に、火災の発生等、極めて憂慮する状況にあります。

稲わらは、貴重な有機資源です。是非、稲わらを有効活用した【秋のすき込み】をしましょう。

《野外焼却（野焼き）について》

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律（第 16 条の 2）』により、野外焼却（野焼き）は、一部の条例を除き禁止されています。なお、農業者が行う稲わら等の焼却が、周辺住民の迷惑となる場合（通報含む）は、指導の対象になります。

☎ 会津坂下消防署 三島出張所 ☎（52）3032

④ 愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来（愛ばんしょ外来）」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいかわからない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

＜各コーナーの開催時間のお知らせ＞

相談コーナー 午前 9 ～ 12 時、午後 1 時～午後 4 時
健康教室 午前 11 時～午前 11 時半
住民交流イベント 午前 10 時～午前 11 時
宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
11 月 9 日④	・相談コーナー ・住民交流イベント「おとなの塗り絵教室」
11 月 16 日④	・相談コーナー ・健康教室「普段どれくらいの塩分をとっているかをチェックしよう」（講師：管理栄養士）
11 月 30 日④	・相談コーナー ・健康教室「介護ロボットを体験しよう」（講師：（一財）ふくしま医療機器産業推進機構職員）
12 月 7 日④	・相談コーナー ・健康教室「ミサイル発射時の行動～命を守ろう～」（講師：看護師）

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

費用は無料です。また、参加すると「みしま健康ポイント」が貯まります。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！（予約不要です） 職員一同、心よりお待ちしております！

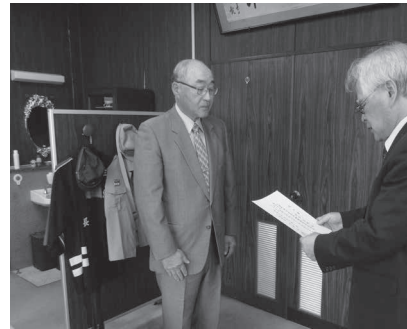
☎ 宮下病院 ☎（52）2321

三島町教育委員会委員に
五十嵐豊子さん（大石田）を新任



三島町教育員会委員に五十嵐豊子さん（大石田）が任命され、矢澤源成町長から委嘱状が交付されました。
教育委員は地域の教育、文化、スポーツ等の振興などについて審議します。任期は4年間です。

三島町固定資産評価審査委員に
目黒忠昭さん（滝谷）を再任



三島町固定資産評価審査委員に目黒忠昭さん（滝谷）が再任され、矢澤源成町長から委嘱状が交付されました。
固定資産評価審査委員は、固定資産の評価額に関する不服の審査を公平な立場で行います。任期は3年間です。

自衛隊高等工科学校生徒募集

募集職種		資格	受付期間	試験期日	将来の展望
高等工科学校生徒	推薦	男子中卒（見込み含む） 17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な成績をおさめ、学校長が推薦できるもの	平成29年 12月1日㊦まで	平成30年1月6日㊤～8日㊦ （いずれか1日を指定）	将来、陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成するため、中学校卒業等を対象に採用する制度です。
	一般	男子中卒（見込み含む） 17歳未満の者	平成30年 1月9日㊦まで	1次試験 平成30年1月20日㊤ 2次試験 平成30年2月1日㊦～4日㊦ （いずれか1日を指定）	
応募先・お問い合わせ			自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所 〒965-0825 会津若松市門田町黒岩字大坪 57-1 ☎0242（27）6724		

会津坂下警察署よりお知らせ

なりすまし詐欺 被害件数70件 1億3,685万円
前年同期比 - 8件 - 9,137万円（平成29年9月末現在）

自転車の盗難に気をつけましょう！

特に被害額が多いのは

架空請求詐欺	33件	7,286万円
オレオレ詐欺	25件	5,530万円
還付金等詐欺	7件	481万円
融資保証金詐欺	5件	388万円



カクニンジャー福くん

サイト料金未納などをかたりお金をだまし取る「架空請求詐欺」の被害が多発しているの、注意でござる。また、会津方面では、例年「還付金や融資保証金詐欺」も多く発生しているの、油断は禁物でござる。

昨年中は15件の自転車盗が発生しました。4・5・8月に多く発生し、駅前などの駐輪場だけでなく、自宅敷地から盗まれるケースも多く発生しています。また、被害自転車のすべてが無施錠でした。

- 被害を防ぐには
- ①確実に施錠しましょう。
 - ②ワイヤー錠などもう一つ取り付け
ツーロックを心がけましょう。



インターネット被害防止
「あ・と・が・こ・わ・い」運動実施中

スマートフォンを利用して……
「あ」 会わないで！（知らない人と）
「と」 撮らないで！（自分の裸を）
「が」 画像を送らないで！
「こ」 個人情報を載せないで！
「わ」 悪口を書き込まないで！
「い」 いじめないで！（ネットを使って）



福島県会津坂下警察署生活安全係 ☎0242（83）3451

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

森田 賢三様（川井）
大竹 重一郎様（滝谷）

ひまわりサロン
11月7日㊦ 町民センター

暮らしの法律教室＆法律相談会
11月22日㊦ 午後1時30分～
午後4時30分
町民センター 視聴覚室

町民課 社会福祉協議会 ☎（52）3344

町からお知らせ

11月分納税のご案内

【納期限 11月30日】

国民健康保険税（第4期）

介護保険料（第4期・普通徴収）

後期高齢者保険料（第4期・普通徴収）

忘れずに納付ください。

町民課 町民係 ☎（48）5555

町の人口と世帯（10月1日現在）

人口	1,679	増減	+2	出生	2
男	822		+2	死亡	0
女	857		0	転入	2
世帯	778		0	転出	2

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん



今月はおりました。

来永くお幸せに



今月はおりました。

お悔み申し上げます



森田 チナミ（91才・川井）

大竹 重正（93才・滝谷）

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。
総務課総務係 ☎（48）5511

三島町産会津地鶏キャンペーン 好評開催中！

三島町会津地鶏振興会では、11月30日まで「三島町産会津地鶏キャンペーン」を開催しています。町内で三島町産会津地鶏を通常よりお得に食べることができます。また、宿泊施設では特別メニューを用意しています。

ご家族やご友人もお誘いのうえ、この機会にぜひ三島町産会津地鶏をお楽しみください！



三島町産 会津地鶏 キャンペーン

10月14日(土) 11月30日(木)

三島町内の旅館・飲食店で三島町産会津地鶏がより安く、気軽に味わえるチャンス！

会津地鶏の特徴

- ① 会津地鶏は、他の地鶏には見られない美しい羽を持つ。
- ② 肉は適度に歯ごたえがあり、脂がのってコク・旨味に優れている。
- ③ 病気に強く健康で飼育しやすい。
- ④ 様々な料理に合い、特に塩の焼き鳥は絶品！

主催：三島町会津地鶏振興会 協力：三島町・三島町観光協会・三島町商工会



三島町産 会津地鶏 キャンペーン お泊書き

表示価格は値引き後の価格です

飲食店

- ① ドライフイン 雪国茶屋
 - 会津地鶏けんちんそば 850円
 - 会津地鶏丼 850円
- ② 中野屋食堂
 - 会津地鶏親子丼 750円
- ③ 中野屋 食事処 つるや
 - 会津地鶏そば 800円
- ④ お好み焼き まつやま
 - 会津地鶏焼きそば(5本) 1,150円
 - 会津地鶏鉄板焼 1,000円
- ⑤ 道の駅 尾瀬街道みしま宿
 - 会津地鶏カレー 550円
 - 会津地鶏親子丼 700円
 - 会津地鶏からあげ定食 900円
- ⑥ キッチンMORY
 - 会津地鶏ビビンバ丼 800円
 - 会津地鶏ミートソース 800円
- ⑦ ログハウス どんぐり
 - 会津地鶏もも肉焼き定食 1,100円
 - 会津地鶏ムネ肉からあげ定食 700円
 - 会津地鶏ムネ肉カツ定食 900円
 - 会津地鶏せいろそば 900円
 - 会津地鶏そば 800円

旅館

- ① 糸屋旅館
 - 会津地鶏焼き 1,000円
 - 地鶏ささみタキキ山かけ 800円
 - 会津地鶏のハム寿司 800円
- ② 宮下温泉 栄光館
 - 会津地鶏焼き 1,000円
 - 地鶏ささみタキキ山かけ 800円
 - 会津地鶏のハム寿司 800円
- ③ 宮下温泉 栄光館
 - 会津地鶏焼き 1,000円
 - 地鶏ささみタキキ山かけ 800円
 - 会津地鶏のハム寿司 800円
- ④ 宮下温泉 栄光館
 - 会津地鶏焼き 1,000円
 - 地鶏ささみタキキ山かけ 800円
 - 会津地鶏のハム寿司 800円

地図：三島町産会津地鶏振興会事務局（三島町役場 産業建設課） TEL.0241-48-5566

町長日記（再生可能エネルギー活用課題）

No. 28

「再生可能エネルギーの展望と課題」が新聞記事等に掲載される機会が目につきます。町民の皆様も関心のある事と思われまふ。

「再生可能エネルギー」とは石油や石炭、天然ガスなどの「化石エネルギー」とは違い、太陽光や風力、地熱などの自然界に存在するエネルギーのことです。環境に優しく枯渇する心配がないため、新しいエネルギーとして注目され、国も導入と普及を促進しています。再生可能エネルギーの活用を図らなければならぬ時代背景は様々な視点があり、特に日本や世界のエネルギー事情や地球温暖化の原因となるCO2削減等々があります。日本のエネルギー供給の約8割程度を化石燃料が占め、そのほとんどが外国に依存しております。国の統計により、再生可能エネルギー自給率は約7%程度です。

最近の世界情勢は混沌とし、かつ不安定な状況です。新聞紙上で政治や経済、そして社会問題をみると二目瞭然です。新興国の経済発展によるエネルギー消費の増大、石油やガス等化石燃料の市場価格の高騰などがあります。また中東地域の不安定さは石油利権をめぐる世界的な様々な思惑の結果であると言われている。この状況は結果として化石燃料利用の増大に伴う温室効果ガスの増加等々を踏まえ、再生可能エネルギーの必要性が高まっている背景と考えられます。

再生可能エネルギーは、主要なもので5種類あります。①太陽光発電。三島中学校や福祉センター、若者単身用住宅等の屋根に発電用のパネルが設置されています。②風を利用した風車型の発電機を回す風力発電。③宮下発電所に代表される水力発電。近年は赤谷川や大谷川等の小河川にも設置できる小規模発電所もあります。④稲わら、林地残材、家畜の排せつ物など生物資源を活用したバイオマス発電。⑤火山などの熱を利用した地熱発電です。

代表的な再生可能エネルギーを挙げましたが、三島の地域の規模かつ雇用の場等々の費用対効果を考えながら、再生可能エネルギー活用の有り方を行政、町民の方や環境省の研究所の専門家を交えて議論しています。出来ない理由を挙げるのではなく、どうしたらできるのかという事を考えてくださうとお願いしております。

今回の第29回に再生可能エネルギーの具体的な考えを記述しますので、町民の皆さんのご意見をいただければと考えています。

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241(48) 5511

ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

印刷 三洋印刷株式会社